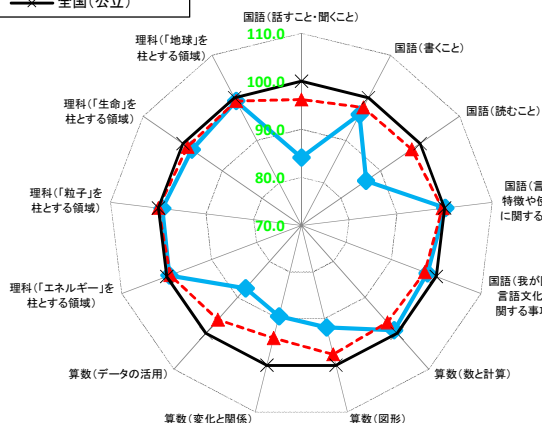
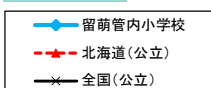
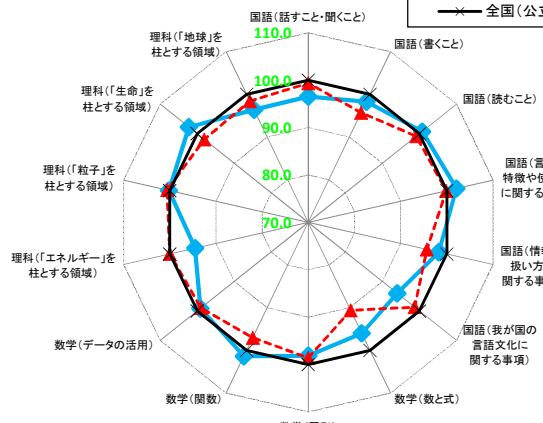
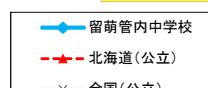


■留萌管内の状況及び学力向上策（小学校数:17校、児童数:280人）（中学校数:12校、生徒数:267人）

小学校【教科全体の状況】

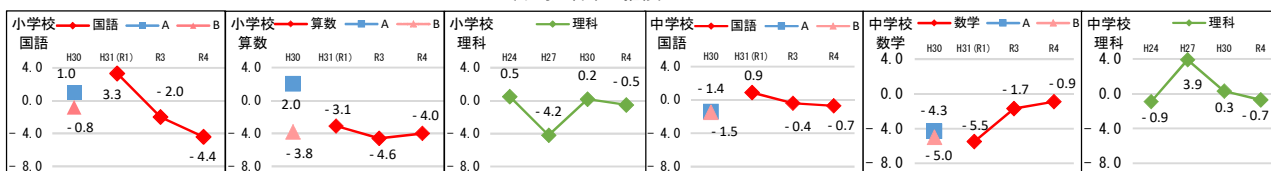


中学校



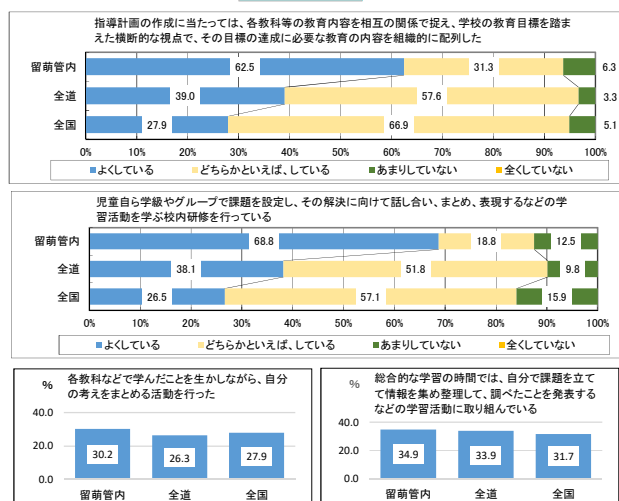
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

【平均正答率の推移】「管内の平均正答率－全国（公立）の平均正答率」の経年変化

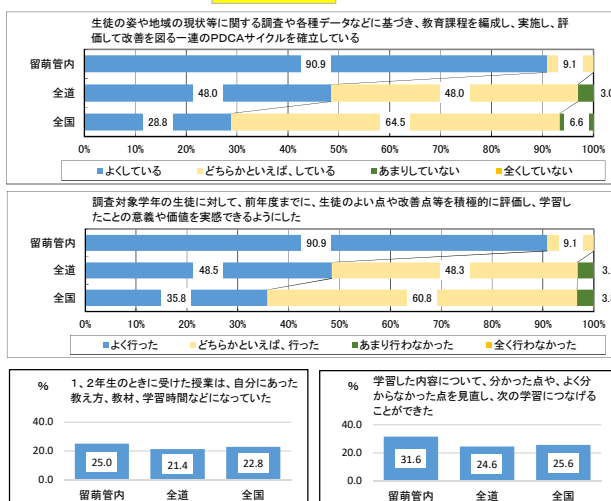


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列するなど、教科等横断的な視点で授業改善を図ったことにより、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行ったと回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

児童自ら学級やグループで課題を設定し、解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動について研修を深め、学校全体で授業改善を図ったことにより、総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

中学校

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立するなど、指導計画の充実や授業改善を図ったことにより、1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにするなど、学習において生徒の自己調整が図られたことにより、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができたという回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【留萌管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

留萌管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1)教育活動の質の向上

- 検証改善サイクルに基づいた学校改善の取組や組織的な取組について全教職員の共通理解が図られておらず、教育活動の質の向上につながらない。
- 義務教育指導監、指導主事が連携し、校長のリーダーシップのもと、教職員が当事者意識をもった学校改善を推進するよう指導助言する。

(2)授業改善の推進

- 学力調査において中学校数学は改善傾向が見られるものの、小学校においては、全国平均との差が広がっている。
- 小中連携の推進やＩＣＴを活用した主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を一層推進するよう指導助言する。

(3)望ましい学習習慣・生活習慣の定着

- 学習習慣の確立に課題が見れることから、学校が家庭や地域と連携した実効性のある望ましい学習習慣・生活習慣の定着を図る取組を進める必要がある。
- 質問紙調査の結果分析や学習習慣の確立に向けた取組の推進に向けて、学校・家庭・地域が連携し、学習環境を構築するなど、学習習慣定着に向けた取組を進める。

2. 具体的な取組

月	(1) 教育活動の質の向上	(2)授業改善の推進	(3)望ましい学習習慣・生活習慣の定着
10	・教職員定数ヒアリング	・管内研究団体等での指導助言 ・チャレンジテスト1学期末問題の分析	・管内研究団体等での指導助言
11	・地域協議会（学校力） ・地域連携研修（学校力：留萌小）	・地域協議会（学校力） ・チャレンジテスト2学期末問題の活用	・地域連携研修（学校力：留萌小） ・地域協議会（学校力）
12	・教育長会議 ・校長会理事研（指導監） ・教頭会理事研（支援課長）	・教育長会議	・教育長会議
1	・教育委員会訪問	・教育委員会訪問 ・チャレンジテスト2学期末問題の分析	・教育委員会訪問
2	・校長会理事研（指導監）		・子どもの学力・生活習慣改善研修会
3	・教育長会議 ・教頭会理事研（支援課長） ・地域協議会（学校力）	・地域協議会（学校力）	・教育長会議 ・地域協議会（学校力）

3. 取組の評価（空欄部分においては、1月末に「令和4年度留萌管内教育推進の重点」の評価により記載）

(1)教育活動の質の向上 ①「教育課程を編成・実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」 ・目 標 小… 80.0%、中… 80.0% ・達成値 小… 100%、中… 100% ②全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進（3点中） ・目 標 小… 3.0、中… 3.0 ・達成値 小… 、中…	(2)授業改善の推進 ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するための授業改善の推進（3点中） ・目 標 小… 3.0、中… 3.0 ・達成値 小… 、中… ②新たなICT環境による学習の基盤となる資質・能力の確実な育成（3点中） ・目 標 小… 3.0、中… 3.0 ・達成値 小… 、中…	(3)望ましい学習習慣・生活習慣の定着 ①望ましい学習習慣・生活習慣の定着（3点中） ・目 標 小… 3.0、中… 3.0 ・達成値 小… 、中… ②「家で自分で計画を立てて勉強をしている。」 ・目 標 小… 60.0%、中… 60.0% ・達成値 小… 74.4%、中… 66.2%
--	--	---

4. 改善点

(1) 教育活動の質の向上 □ 全教職員によるカリキュラム・マネジメントや検証改善サイクルの取組がとぎれることのないよう指導助言する。	(2) 授業改善の推進 □ 情報活用能力の育成やICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されるよう指導助言する。	(3) 望ましい学習習慣・生活習慣の定着 □ 各種研修会等において、学習習慣の確立に向けて、学校・家庭・地域が連携し、学習環境が構築されるよう指導助言する。
---	---	--